

提案名	憧れと地域特性を活かした原点回帰住宅によるうるおいある街並みづくり	分野	まちなみ・住環境の分野に係る提案
提案者	株式会社玉家建設	種別	システム提案
構造	木造（在来軸組）	建て方	一戸建ての住宅

■提案の基本的考え方

当社は、長期にわたって街並みや景観を維持するためには、その土地や気候にあった住宅を建設すること、そしてその街並みを維持したいと思う施主の気持ちを醸成することが大切と考えている。さらに、その街並みを広げるためには、街への憧れが重要と考えている。

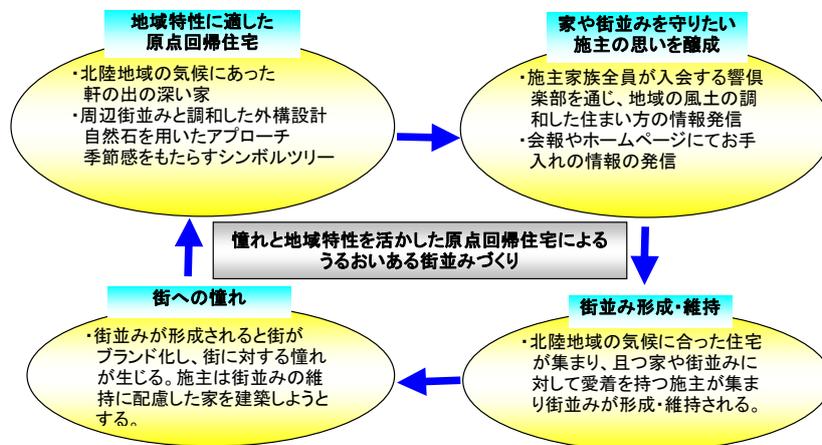
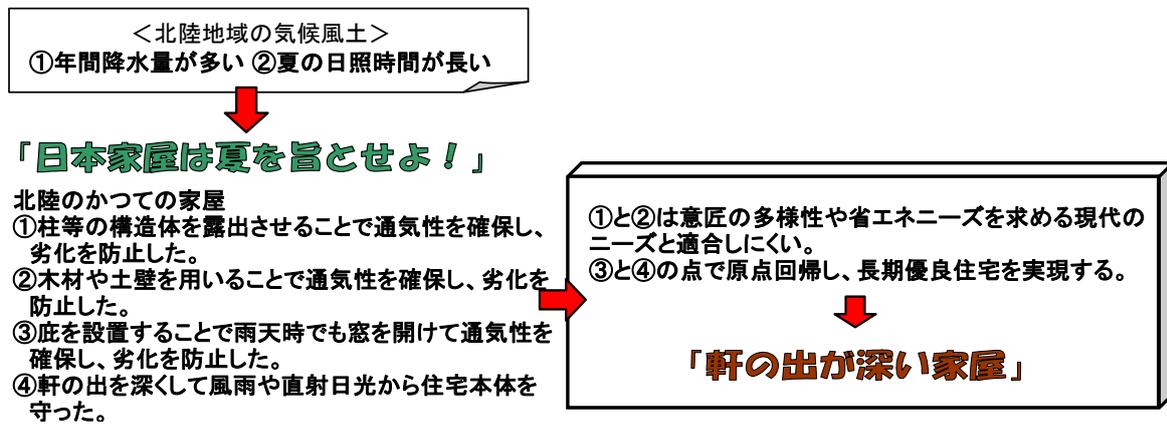


図1 街への憧れと原点回帰住宅による街並み形成の考え方

■提案内容

当社は、その土地や気候にあった住宅は、その地にてかつて街並みを形成していた家の特徴にヒントがあると考えた。そこで、当社が北陸の住宅の特徴を調査したところ、かつて北陸の街並みを形成していた家の特徴は、「日本家屋は夏を旨とせよ」という言葉どおり、家を風雨から守り軒下で雨宿りできるほど軒の出が深いことであることが判明した。この特徴は、通行人が雨や雪をしのぐことができ、住宅本体に風雨や直射日光が当たりづらく、風雨の多い北陸地方において長期に住宅を維持するための先人の知恵が詰まったものと言え、当社はこの特徴を活かした住宅を提案する。



## ○地域の気候風土に調和した原点回帰住宅

軒の出が深い住宅は、通行人が雨や雪をしのぐことができ、住宅本体に風雨や直射日光が当たりづらく風雨の多い北陸地方において長期に住宅を維持するための先人の知恵が詰まったものである。また、夏場は直射日光が住宅本体に当たりづらく、冬場は直射日光が家の中まで入るなど省エネにも効果が期待できる。さらに、歩行者の視線を配慮すると、軒のラインが低く深い下屋を付けたほうが落ち着くなど景観面での効果もある。(図2)

複数棟で構成される団地ではなく、単独棟で街並みを形成するためには、既存住宅との調和により街並みを形成することは特に重要と考える。

### 軒の出が深い住宅のメリット

- イ 住宅の長寿命化
- ロ 省エネ
- ハ 周辺住宅との調和

#### < 当社の提案 >

- イ 軒の出の深さを90センチ以上とする  
(隣地への落雪の影響がある屋根を除く)。
- ロ シンボル樹設置、アプローチは必ず洗出し仕上げや自然石等を用いる。
- ハ 自然石を用いた外構を採用する。
- ニ 外壁には擬似的な化粧サイディングの使用を控え、土壁風の吹付けまたは、しっくい土の塗り壁を用いる。  
(厚吹付を行うことでサイディング本体を劣化から守る)
- ホ 玄関周りの軒裏の素材を木材とする  
(準防火地区は除く)。

#### ■提案者からのコメント

当社は、その土地や地域特性にあった住宅(軒の出が深い等)を建築し、街を大切に思う施主の気持ちを醸成し、街並みが形成・維持されることにより、街の資産価値が上がるのがうまいある街並みづくりにつながると考えております。

当社が事業を行う北陸地方では、都市部と異なり、大規模開発による街並み形成は現実的に難しい状況です。そこで、当社は本コンセプトの住宅を街に建築し続けることで、この考え方そのものを施主様に共感いただく若しくは浸透することが地方における街並み形成のポイントであると考えております。このたび当社の提案を採択いただいたことをきっかけに1棟でも多く本モデルの住宅を建築し、この考え方を周知していきたいと思っております。

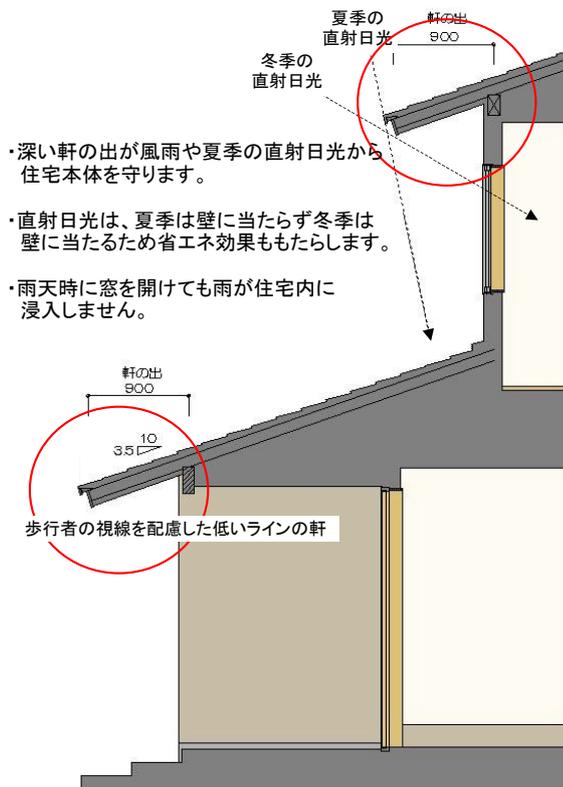


図2 軒の出図面